

2024 年度休眠預金等活用事業（緊急枠）「親を頼れず住まいを失った若者に対する居住・生活支援（公的支援につながらない若者へのサポート事業）」  
採択団体一覧

資金分配団体名：特定非営利活動法人サンカクシャ・公益社団法人ユニバーサル志縁センター

【選定過程】

公募期間：2025年3月12日（水）～2025年4月18日（金）

一次審査（書類選考）：4月28日（月）

二次審査（オンライン面談）：5月8日（木）～15日（木）

外部審査員による審査会：5月22日（木）

理事会での決定：5月27日（火）

採択団体（申請申込順）

法人名	事業名	事業概要	選定理由	助成額(円)	直接事業費(円)	管理的経費(円)
公益社団法人アマヤドリ	制度の狭間で孤立困窮する若者への居住支援モデルの構築事業	<p>概ね18歳～29歳までの孤立・困窮する若者を対象に、下記3つの事業を行うことで危機的な状況を回避し、自身の生き方を選び望む未来への第一歩を踏み出すことをサポートする。</p> <p>社会背景：18歳を迎えると成人となるため児童福祉法の対象外となるが、実際この年代はまだ学生の場合も多く、サポートが必要な時期である。家族を頼ることができない若者はさまざまな課題を一人で抱え込み、適切な相談先や行政サービスと繋がれずに追い込まれてしまっていることが多い。短期～中長期の住居を運営することで若者のステップに合わせた住居を提供する。</p> <p>1) 制度の狭間で孤立困窮する若者向けシェアハウスとシェルターの運営 ①サポート付きシェアハウス（入居期間1年（学生は卒業まで可）/定員3人） ②シェアハウス型シェルター（入居期間3ヶ月/定員3名） ③アパート型ステップハウス（入居期間3ヶ月/母子で利用可能）（定員1世帯）</p> <p>2) 事業を寄付者に周知するための広報事業 寄付者に向け当団体の事業を周知するため団体ホームページの改修を行う。また寄付者層が多く存在するSNSにターゲティング広告を打ち出して寄付者を募る。</p> <p>3) 安定的な若者支援を行うための運営財源の確保 安定的な活動を行うことを目的とし、READYFOR株式会社様のファンドレイジングサービスを利用し継続寄付会員を増やすための基盤を作る。</p>	<p>長期的に関わろうとする丁寧な支援姿勢があり、一人一人の状況に寄り添い、独り立ちにつなげてきた実績がある。 支援対象者の9割が女性で、若年女性の支援に力を入れ、経験知を積み重ねている。 ファンドレイズ強化のための資金は居住支援を継続的に行うためにも必要と認められる。</p>	10,946,467	8,781,550	2,164,917
NPO法人コミュニティスペース sacula	様々な困難を抱える若者のための自立サポートシェアハウスとステップハウスの提供	<p>公的機関や公的シェルター利用の対象外である所謂【制度の狭間】で悩む上記対象の若者に、入居期間を定めて【一人暮らしのきっかけ】としてシェアハウスを提供。入居者一人ずつにソーシャルワーカーがつき、毎月一回、困りごとや日々の生活を聞き、長期目標や短期目標、スモールステップを一緒に決めるミーティングの日を設ける。ソーシャルワーカーとの面談の他、シェアハウスミーティングやシェアハウスご飯会なども実施し、入居者同士の交流も図る。また、ソーシャルワーカーとは別のスタッフが同世代の「ピアサポーター」として日常的に関わり、日々の些細な悩みやソーシャルワーカーに言いにくいことなどをキャッチし、包括的なサポートも目指す。必要に応じてカウンセラーや子ども若者総合相談窓口、若者サポートステーションや医療等にもつなげるなどの連携も行なう。 また、シェアハウスの次のステップとして、法人が契約するアパートでの一人暮らし（ステップハウス）を提供し、シェアハウス同様にソーシャルワーカーやピアサポーターが一人暮らしや金銭面のサポートを行なう。シェアハウスは若年女性限定とするが、トランスジェンダーや若年男性からの相談の増加に対し、ステップハウスはジェンダーを限定せず行なう。</p>	<p>制度から漏れた若者層への支援実績があり、地域密着で関係機関からの信頼度が高い。入居者一人一人に丁寧な伴走支援を行っており、シェアハウス後のアフターケアも丁寧に行っている点が高く評価された。</p>	11,978,048	11,418,048	560,000

認定NPO法人トナリビト	親を頼れない若者への自立支援事業	<p>虐待、ネグレクト、経済困窮、親子不和、社会的養護出身等の理由で親を頼りづらい／親から実質的な支援を得られない背景をもつ10代～20代半ばの若者たちが、路頭に迷ったり、食べ物がなかったり、大きなトラブルに巻き込まれたり、自身の精神面・発達面の課題等の理由から安心して自立した生活を送ることが難しい状況に陥ったときに、住居や自立に向けた様々なサポートを提供し、生活を再建していくための伴走を行う。</p> <p>具体的には、①相談窓口、②短期緊急宿泊用シェルター、③自立支援シェアハウス、④アパート型ステップハウスを運営し、若者の相談対応から、状況やニーズに応じた住居提供・確保、生活支援(食事、家事等)、各種手続き同行、就労支援など、生活再建支援を行う。また、事情を抱える若者たちは公的機関や大人との関係構築が難しいケースも多く、制度の狭間に陥りやすいことから、官民で連携を取りながら、ニーズがある若者を繋いでいく体制を構築する。</p>	熊本で唯一の若者生活支援団体として、地域に根付いたニーズを汲み取り、丁寧な伴走支援をおこなっている点が評価できる。関係機関と連携しながら、緊急支援だけでなく中長期的視点の両立を図る姿勢が高く評価された。	8,330,080	7,251,520	1,078,560
一般社団法人イシノマキ・ファーム(コンソーシアム申請:特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク)	若者ハウジングファーストリカバリー支援事業	<p>当法人ではこれまで社会的養護退所者の居住先の提供や、家族から離れざるを得ない若者への一時的なシェアハウスの提供を行ってきた。また石巻市内には民間の若者に限る居住支援は当法人しかない状況にある。それらの経験を活かし、居場所支援からつながる若者の課題解決に向けた居住支援・生活支援を通じて、自立へ向けたサポート体制を構築する事業を展開したい。当法人(イシノマキファーム)シェアハウス居住支援と連携しているまなびのたねネットワークによる居場所支援(しゅろハウス)では、利用者である若年女性が途絶えることなく居場所に来ており、一定期間来ていると、自らの力で社会に適応したり、自分の道を見つけて「巣立って」いっているが、若者が家に居られない、また様々な事情で家を出なくてはならないというタイミングで居住問題にたどり着くが若年層が一時的に安心して居住できる社会資源が少ない状況にある。この事業を実施することで、両法人の強みを最大限に活かしてコンソーシアムで役割分担を明確にしながら、切れ目のない支援体制を自指していく。若者に住居だけあればいいのではなく、孤独・孤立防止となる安心して過ごせる居場所と援助希望できる関係性の構築、日常生活の支援ができる包括的なセーフティネットとして機能していくことが重要である。特に援助希望できる関係性には必ずしも専門職ではなく、地域住民(農家や自治組織)やピア(当事者)の存在が大きく影響すると考え、この事業の要とも考える。</p>	居場所支援で捉えた居住支援ニーズに対応する体制をコンソーシアムによって作り出しており、両法人の強みを活かして男女共に対応できる形にしている。ソーシャルファームを通じた支援にも強みがある。地域での希少性や就労・居住支援の実績、行政連携が評価された。	7,071,688	6,084,888	986,800
特定非営利活動法人DV対策センター	多様な困難を抱えた18歳～29歳の若者への居住支援と自立に向けた伴走支援	<p>この事業では、様々な困難を抱え、成人後も自立が困難な状態にある18歳～29歳の若者を対象に、自立までを支えるための事業を行う。主な事業として、避難の受け皿として不可欠なシェルターを始め、自立準備期間の重要な拠点となるステップハウスを運営する事業を中心としつつ、アフターフォロー支援(居場所、食、就学就業、居住支援、同行、相談&amp;啓発)も同時に行う。特に、自立の橋渡しとなる居住支援(住宅確保支援)は力を入れて行う。また該当者が心身を癒す時間や、人との信頼関係を築くための啓発支援を通じて、自己肯定感や倫理観を向上させることに寄与する。中長期的伴走支援を通じて若者が社会人として自立するまでを見守り、再び社会と繋がり、その人らしく生きていける居場所を獲得することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. シェルター・ステップハウス運営</li> <li>2. 居場所運営(相談、講座提供、就業体験支援等)</li> <li>3. 食、就学・就業支援、同行支援等アフターフォロー支援(日々の食事や夕食会など、復学手続き・就業先の選定や面接サポート、病院・行政などへの同行)</li> <li>4. 居住支援(自立に向けた相談・連携を含む)</li> <li>5. 再発・孤立防止セミナー及び心理士によるカウンセリング(エンパワメント講座、心のケア講座(NPO法人レジリエンスと連携)エンパワメント講座など)</li> <li>6. 行政・病院・福祉施設ほか社会資源等連携、繋ぎ支援</li> <li>7. 連携強化事業 カンファレンス1回</li> </ol>	DV被害者支援だけでなく様々な背景をもつ方への支援に活動の幅を広げ、シェルターやカウンセリング、講座等を包括的に提供している。支援のフレームワークができてきており、一人一人の気づき、学びに伴走する姿勢が高く評価された。	9,880,960	9,264,960	616,000

※助成額は実〇団体よりご提出いただいた事業計画書・資〇計画書に基づき算定しています